

《 「地獄についての神の啓示」 より抜粋 》

(Copyright c. Eternal Life Ministries
http://www.eternal-lm.com)

メアリー・K・バクスター

1976年三月、私は家で祈っていた時、主イエス・キリストの訪問を受けました。

それまで私は幾日も神の霊によって祈っていましたが、突然、神の臨在をはっきりと感じたのです。

神の力と神の栄光が部屋に満ちました。私が祈っていた部屋を明るく輝く光が照らし、心地好くすばらしい感覚が私に押し寄せて来ました。

光が、大波のように押し寄せてきては互いに折り重なり、また押し寄せてきては流れ出ていきました。実に、目を見張らせるような光景でした！

そしてそれから主の声が私に語り、こう言われました。

「私はあなたの主、イエス・キリストです。私は聖徒たちに私の再来への備えをさせ、多くの人々を義の道に立ち返らせるため、あなたに啓示を与えたいと願っています。暗やみの力は現実に存在し、私のさばきは本当に存在するのです。

我が子よ、私は私の霊によってあなたを地獄に連れて行きます。そして私がこの世界の人々に知ってほしい多くのことをあなたに示していきます。私は何度もあなたに現われます。私はあなたの肉体からあなたの霊を取り出し、実際に地獄の中に連れて行きます。

私は、あなたが一冊の本を書き、さまざまな幻や私があなたに啓示するすべてのことを告知させることを望んでいます。

あなたは私とともに地獄の中を歩いて行きます。過去にあったこと、現在あること、これから起こること、これらのことの記録を作りなさい。私のことばは真実であり、信頼できる確実なことなのです。…

「私は私の霊によってあなたを地獄の中に連れて行きます。それは、地獄の現実をあなたが書きとめて、全世界の人々に地獄が現実にあることを語るため、また滅びに向かっている人々を暗やみの中からイエス・キリストの福音の光の中に導くためです…

彼は言われました。「あなたが見ようとしていることは、一つの警告なのです。あなたが書く本は、多くの人々を地獄から救うこととなります。

あなたが見ようとしていることは現実のことです。恐れてはいけません。私はあなたとともにいるからです」

…ついにイエス様と私はトンネルの底に着きました。私たちは地獄の中へ入って行きました。

私は、私の能力の限りを尽くして、見たことを語ろうと思います。そしてそれを、神が私に示してくださった順序で語ることにします。

見渡すかぎり私たちの前には、あちらこちらへと何かが飛んでいました。うめき声と哀れな泣き声が満ちていました。前方の上方に、薄明かりが見え、私たちはそこに向かって歩き始めました。道は乾燥しており、粉っぽい泥道でした。私たちはやがて小さな暗いトンネルの入り口に着きました。

私が紙上で書けないことが、いくつかあります。それらは表現できないほどにあまりにも恐ろしいことでした。

地獄での恐怖は、体験することはできても、もし私がイエス様と一緒になかったらその恐怖から戻って来ることはないであろうことを、私は知っていました。

これを書きながらも私が見たことで理解できないことがいくつかありますが、主はすべてのこと

をこ存じです。そして主は私が見たほとんどのことを理解できるように助けてくださいました。

あなたに警告させていただきます。あの場所に行ってはいけません。そこは、苦悩と苦痛と永遠の悲しみの、恐ろしい場所なのです。

あなたのたましいは、いつまでも生き続けるのです。たましいは永遠に生きています。それは現実のあなたであり、あなたのたましいは天国か地獄かのどちらかに行くことになるのです。

地獄には、夜も昼も苦しんでいるたましいがいるのです。地獄にはパーティーなどありません。愛も全くありません。あわれみも全くありません。休息も全くありません。あなたの考えの及ばない、ただ悲しみの場所なのです。

《著者メアリー・K・バクスターから》

この本（「地獄についての神の啓示」）を書くのは、私にとって長くて、孤独で、しかも忍耐のいる経験でした。実際、この本ができ上がるまでに何年もかかりました。

私が主から啓示を受けたのは、1976年のことでした。その啓示を紙に書き出すのに八ヶ月かかりました。執筆に数年かかり、整理するのにもう一年かかりました。

この本の完成には、1982年の冬と1983年のまる一年とを費やしました。付け加えて言えば、イエス様は40日間、私を地獄に案内されたのでした。

1976年、主は私に現われてくださり、私にこう言われました。

「我が子よ、私があなたに私自身を現わすのは、人々を暗やみの中から光の中に導くためです。

主である神があなたを選んだのは、私がこれからあなたに示して語ることを、あなたが書きとめて記録するためです」

「私はあなたに、現実の地獄を啓示していきます。

それは多くの人々が救われるため、手おくれになる前に多くの人々が悪の道を悔い改めるためです」

「あなたのたましいは、私、主イエス・キリストによってあなたの体から取り去られ、私があなたに見せようと願っている地獄とその他の場所に移されます。また私は、あなたに天国とその他の場所も見させ、多くの啓示を与えます」

メアリー・キャサリン・バクスター

★ 《地獄にいた女性》

最初の穴の中央から泣き声が聞こえました。

骸骨（がいこつ）の形の中に一人のたましいがいて、「イエス様、あわれんでください！」と叫んでいるのが見えました。

「ああ、主よ！」と、私は言いました。それはひとりの女性の声でした。

私は彼女を見て、その火から彼女を引き出してあげたい、と思いました。彼女を見て、私は心が激しく痛みました。

イエス様に話しかけたのは骸骨の形をした女性で、内側はきたない灰色の霧でした。ショックを受けながらも私は彼女の言うことに耳を傾けていました。腐った肉の切れっばしが彼女の骨にぶら下がっていて、それが焼けると穴の底にはがれ落ちました。彼女の目があったところは、今はただ空っぽの穴になっていました。髪の毛はありませんでした。

火は彼女の足元で小さな炎で始まり、上に達して彼女の体をおおうにつれて大きくなりました。

炎がほんの燃えさしである時も、彼女は絶えず焼かれているように見えました。彼女の内側の奥深いところから、絶望の泣き声とうめき声が聞こえて来ました。

「主よ、主よ、私はここから出たいのです！」

彼女はイエス様のほうに手を伸ばしたままでした。私はイエス様を見ました。イエス様の顔に大

きな悲しみが現われていました。

イエス様は私に言われました。

「我が子よ、あなたが私と一緒にここにいるのは、罪の結果が死となることと、地獄が現実にあることとを、世界に知らせるためなのです」

私がもう一度その女性を見ると、虫が何匹も、彼女の骸骨の骨から、うようよはい出ていました。それらの虫は火で焼かれてはいませんでした。イエス様は言われました。

「彼女はあれらの虫が中にいることを知っており、また感じています」

「神様、あわれんであげてください！」

私が叫んだ時、火はそのピークに達し、また火があたり一面に激しく燃え始めました。激しい泣き声と深いすすり泣きとで、この女性のたましいの形が揺れ動きました。

★ 《地獄にいた男性》

…私たちは次の穴のところに来ました。その穴の内側は、大きさは他の穴と同じでしたが、別の骸骨（がいこつ）の姿がありました。

ひとりの男の人の声が穴から叫んで言いました。

「主よ、私をあわれんでください！」

話し声が聞こえた時だけ、私はそのたましいが男性か女性かわかりました。

激しい悲嘆にくれた泣き声がこの男の人から聞こえました。

「本当にすみませんでした、イエス様。私を赦してください。

私をここから連れ出してください。もう何年もこの苦しい所にいます。

お願いですから私を出してください！」

彼が懇願した時、激しいすすり泣きで彼の骸骨の体が揺れ動きました。

「どうか、イエス様、私を出してください！」

私がイエス様を見ると、イエス様も泣いておられました。

その男の人は燃えている穴から叫びました。

「主イエス様、私の罪のためには十分苦しんだじゃないですか？

死んでもう四十年たちましたよ」

イエス様は言われました。

「こう書かれています。『義人（神の前に正しい人）は信仰によって生きる！』

すべて、あざける者たちと信じない者たちの受ける分は、火の池の中にあります。

あなたは真理を信じようとしませんでした。

幾度も私の民があなたのところに送られて、あなたにその道を示しました。

しかしあなたは彼らの言うことを聞こうとしませんでした。あなたは彼らをあざ笑い、福音を拒みました。

私はあなたのために十字架の上で死んだのに、あなたは私をあざけり、あなたの罪を悔い改めようとはしませんでした。私の父はあなたに救われる機会を幾度も与えました。

もしあなたが耳を傾けてさえいたのなら！」

イエス様は泣かれました。

その男の人は叫びました。

「知っています、主よ、知っていますよ！ だけど今は悔い改めています」

イエス様は言われました。

「遅すぎます、裁きは決定しています」

その男の人は続けて言いました。

「主よ、何人か私の知り合いがここに来るはずですよ。彼らも悔い改めることはないでしょうから。

お願いです。主よ、私を彼らのところに送って、まだ地上にいる間に自分の罪を悔い改めなけれ

ばいけない、と話させてください。私は彼らがここに来てほしくないんです」

イエス様は言われました。

「彼らには、福音を語る説教者、教師、長老たちがいます。その人たちはみな福音の奉仕をしています。その人たちが彼らに語るのです。

彼らは私から学ぶために、現代の情報伝達のシステムなどさまざまな方法を利用することもできます。彼らが信じて救われるため、私は働き人たちを彼らのもとに送りました。

彼らが福音を聞いた時**信じようとしないうら**、死人が生き返っても彼らは聞き入れないでしょう」

この時、その男の人は非常に怒り出し、呪い始めました。悪い、ののしる言葉が彼から出て来ました。

私はおびえて見ていると、**炎**が立ち上ってきて、彼の死んで腐った肉は焼かれて、くずれ落ち始めました。この死んだ男の人の形の内側に、彼のたましいが見えました。それは、きたない灰色の霧のように見え、彼の骸骨の内側に満ちていました。

★ 《イエス・キリストから世界へのメッセージ》

イエス様が初めて私に現われてくださった時、彼はこう言われました。

「キャサリン、あなたは私とともに地獄の深いところを通るように父によって選ばれました。**地獄と天国について、私が世界中の人々に知ってほしい多くのことを**、あなたに示していきます。

この本が、これらの知られていない場所が実際にどのようなところなのかを知らせる**真実の記録**となるように、私はあなたに何を書くべきかを語りましょう。私の霊は、永遠、裁き、愛、死と死後の命について、奥義を啓示します」

まだ救いを受け取っていない世界中の人々に対する、主のメッセージはこれです。

「**私はあなたがたが地獄に行くことを望んでいません**。私は、私自身の喜びのため、またいつまでも続く交わりのために、あなたがたを造りました。

あなたがたは私が創造したものであり、私はあなたがたを愛しています。

私が近くにいる間に私を呼び求めなさい。そうすれば、私は聞いてあなたがたに答えましょう。私はあなたがたを赦して祝福したいと願っています」

すでに救いを受け取っている人々に、主はこう言われます。

「あなたがたはいっしょに集まることを忘れてはいけません。いっしょに集まり、祈り、私のことばを学びなさい。**聖い霊で私を礼拝しなさい**」

主は諸教会と国々に、こう言われます。

「私の天使たちは、救いの相続者たちのために、またこれから相続者となる人々のために、いつも戦っています。私は変わることがありません。私は、きのうも、今日も、永遠に同じです。

私を求めなさい。そうすれば私は私の霊をあなたがたの上に注ぎましょう。あなたがたの息子、娘たちは預言をするでしょう。私はあなたがたの間で大いなることを行ないましょう」

もしあなたがまだ救われていなければ、今、時間を取って、主の前にひざまずき、「罪を赦して神の子どもにしてください」と主に求めてください。

どんな犠牲を払ってでも、あなたは今、天国をあなたの永遠の住まいとするべきです。地獄は恐ろしく、地獄は現実にあるのです。

(「**地獄についての神の啓示**」 [エターナル・ライフ・ミニストリーズ刊] より抜粋)